

ここからは、ご自宅や出張先などキャンパス外にいるときに、大阪大学が契約している電子ジャーナルやデータベースなどを利用する方法をご説明します。

キャンパス内とキャンパス外の違い

キャンパス内

研究室 / D3センター / 図書館等のPC を使っているとき

大阪大学のWi-Fi(odins-1x)に接続しているとき

→ここまで説明した操作方法でOK

キャンパス外

ご自宅や出張先にいるとき

→フルテキストを手に入れる場合、**別途操作が必要**

キャンパス内とは、たとえば研究室、D3センター、図書館にあるパソコンを 使っている場合です。

また、ご自分のパソコンやタブレットを、大阪大学のWi-Fi(odins-1x)に接続 している場合です。

32

キャンパス内のときは、ここまで説明した操作方法でOKです。

電子ジャーナルなどの出版社は、IPアドレスというものを確認して、契約しているかどうかを判断しています。

キャンパス内からアクセスしたときは、このIPアドレスが大阪大学のものだと分かるため、契約している電子ジャーナルやデータベースを利用できます。

この環境以外、例えばご自宅や出張先などからフルテキストを手に入れたい、という場合には、別途操作が必要です。

いちょうマークのアイコンを表示させたり、阪大が契約しているデータベースを 使ったりするためには認証手続きがいります。

キャンパス外:OPACから①	
蔵書検索(OPAC) ⇒ いちょうマーク ♀ UOsaka の画面 ※	ここまではキャンパス外からでも同じ表示
結果: 1 え示: 25 ∨ ↓ 閉連度 ∨ 1. ○ 査読 雑誌 Physics Letters A ISSN: 0375-9601; 1873-2429 サブジェクト(LC): Science ~ Physics - General 出版社: Elsevier 代替タイトル: Physics letters; Physics letters. A; Physics letters; Phys Lett A	大阪大学 全学 IT 認証基盤サービス 全 大阪大学 OSANA UNIVERSITY ログイン 大阪大学個人ID: パスワード:
詳棚を表示 全文アクセス ▲ C ScienceDirect 1967-01-02 - 現在	リンクをクリックすると認証画面へ ⇒大阪大学個人IDと パスワードでログイン

まず、蔵書検索(OPAC)から電子ジャーナルのフルテキストにアクセスすると きです。

このスライドは、OPACの詳細画面にあるいちょうマークのアイコンを押したあ と、「電子ジャーナル・ブック検索」の画面が開いたところです。

ここでキャンパス内にいるときと同じように全文アクセスのリンクをクリックす ると、認証画面が表示されます。

みなさんがKOANにログインするときに使う大阪大学個人IDとパスワードを入力 してログインしてください。

うまくログインできれば、キャンパス内と同じように電子ジャーナルを使うこと ができます。



キャンパス外からのアクセスについて、一つだけ注意点があります。 一部のタイトルについて、いちょうマークのアイコンをクリックした後、「全文 アクセス」の項目に「〇〇キャンパス限定」というメッセージが表示されること があります。このスライドの例は、「豊中・吹田キャンパス限定」と書かれてい ますね。

こちらは電子ジャーナルの契約条件にもとづき、アクセス制限のあるタイトルで す。キャンパス外からのアクセスはできませんのでご注意ください。



次に、論文データベースを使うときについて説明します。 一部の論文データベースは、キャンパス外からも使うことができます。

学外からデータベースを使う時は、図書館Webサイトトップページの検索窓の 一番下にある「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリックします。 すると、キャンパス外から使えるデータベースの一覧が表示されます。 この中から使いたいデータベースを選んでクリックすると、大阪大学個人IDとパ スワードを使ってログインする画面が表示されます。

ログインすれば、キャンパス外であっても、データベースの検索結果にいちょう マークのアイコンが表示されます。 そして先ほど説明した通り、いちょうマークのアイコンをクリックすると電子 ジャーナルが使えるかどうかが分かります。

キャンパス外: GakuNinを使う

<u>学術認証フェデレーション(GakuNin)</u>

電子リソースを利用する大学、電子リソースを提供する機関・出版社等から構成され た連合体(フェデレーション) 阪大個人IDとパスワードで認証が可能 電子リソースのほか、NII FileSender(ファイル共有システム)、しぼすけ(スケ ジュール調整ツール)なども利用可能

もうひとつ、学外からの認証方式には学認という仕組みもあります。 こちらは図書館ではなくて学内の別の部署、情報推進部が担当となっています。 電子ジャーナルやデータベース以外のサービスとも連携をしています。

36



最後に、本教材のまとめです。



ここまで、論文フルテキストの入手方法を見てきました。 説明した内容を図にするとこのような形です。入手の選択肢について、ひととお り分かっていただけたかと思います。

基本的には、

1. 電子ジャーナルをダウンロード

2. 阪大で所蔵している紙の雑誌をコピー

3.ILLサービス

の順番に入手方法を考える、という段取りです。

ご相談ください

総合図書館B棟2F 参考調査カウンター

- 職員がお待ちしています
- 平日9:00-17:00(事前予約不要)
- オンラインやメールでの相談も受け付けます

大阪大学附属図書館 レファレンスデスク https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference_desk/

- メール・フォーム・オンラインでの相談受付中
- ・ 附属図書館4館のレファレンス・スタッフが 随時ご相談・参考調査に応じています

実際にフルテキストを探すときに操作方法がよく分からないとか、参考文献リストの読み取り方がよく分からないなど、疑問点がありましたら遠慮なく総合図書 館参考調査カウンターへお尋ねください。平日の9時から17時の間、職員がお待ちしています。また、メールやオンラインでの相談も受け付けています。どうぞ お気軽にご利用ください。

レファレンス・デスク

39

さらに、大阪大学附属図書館4館のレファレンス・スタッフが随時ご相談や調査 を受け付けています。メール・フォーム・オンラインの方法で可能ですので、詳 しくは、画面のQRコードから図書館Webページをご覧ください。